

## 『妙義山を望む豊かな自然と歴史を守り

### みんなで磨いて未来へつなぐ景観まちづくり』を目指して

安中市は関東平野の北西端に位置し、妙義山をはじめとする山並みの景観、中央部には碓氷川や九十九川が東西に流れる水辺の景観など様々な自然景観に恵まれています。また、古くから東山道や鎌倉街道が整備され、江戸時代になると中山道の整備とともに、板鼻・安中・松井田・坂本の4つの宿場が置かれ、碓氷関所が設けられるなど、交通の要衝として栄えてきました。めがね橋として知られる碓氷第三橋梁や隧道などが国指定重要文化財となっている旧碓氷峠鉄道施設、旧中山道に現存する歴史的資産など、数多くの歴史的な景観も残されています。



これらの貴重な景観資源を守り、次世代に引き継ぐとともに、新たに良好な景観をつくっていくため、景観法に基づく景観計画を策定いたしました。本計画は、市民・事業者・行政がそれぞれ協力しながら、景観まちづくりを推進していく指針となるものです。今後は、「安中市景観計画」に基づき、良好な景観形成に向けて取り組んでまいります。

また、近年、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、本市においても高齢化や人口減少は顕著となっております。本市の特徴ある景観資源を活かした景観まちづくりを進めていくことにより、観光・交流の促進、生活環境の魅力向上、地域産業の振興などに効果が期待できます。これらを通して、定住人口の増加や交流人口の維持を目指してまいります。

最後に景観計画策定にあたり、貴重なご意見を賜りました市民の皆様をはじめ、慎重審議を賜りました景観計画策定委員会の皆様、都市計画審議会の皆様、その他関係者の皆様方に心より感謝とお礼を申し上げます。

令和4年2月

安中市長 茂木英子